

令和7年度グループホームおおぞら第1回地域連携推進会議議事録

開催日時：令和7年5月27日（火）午後1時30分から午後3時まで

開催場所：グループホームおおぞら 食堂

出席者：（推進員）5名

（事務局）理事長、施設長、サービス管理責任者

1 開会あいさつ

理事長より、グループホームおおぞらが出来た経緯や、3年前の集中豪雨での話を通じ、地域との連携の必要性の話があった。

2 出席者紹介

出席者が順次自己紹介を行った。施設長からは、本日出席していない職員の紹介も併せて行った。

3 議事

議事は、施設長（議長）の進行により行われた。

① 地域連携推進会議について

○会議の目的

- ・（施設長）国からの設置義務により同会は発足し、当法人では「グループホームおおぞら地域連携推進会議設置要綱」を策定したことを説明する。その中で、特に第3条の構成員並びに推進員の任期について、第4条の会議の運営方法及び会議の主な活動についての説明を行った。また、第7条の守秘義務についても周知した。
- ・（施設長）引き続き「障害者支援施設・共同生活援助とは」の資料により、グループホームおおぞらは、「介護サービス包括型」に属し主に軽度の障害者が対象であることや、生活の施設であることで、外部には閉鎖的な施設となっていることが課題であることを説明する。

○推進員の役割

- ・（施設長）「地域連携推進会議とは」の資料により、地域連携推進会議の4つの目的と目的を遂行するための方策について説明が行われた。
- ・（施設長）引き続き、「施設訪問時の確認するポイント」の資料により、推進員として施設見学时にどんな点についてチェックするのか、どんなことを聞き取りすればよいのか、これによりどのような効果が得られるかについて説明した。

② グループホームおおぞらの紹介

○利用者の日常生活の様子

- ・(施設長) 最初に三つ折りのパンフレットにより、グループホームの開所時期や建物の配置並びに利用料金などについて説明した。
- ・(施設長) 引き続き、添付資料「グループホームおおぞらの日常生活の様子について」に基づき、当施設は「共同生活支援事業」と「短期入所事業」の2事業を実施していることや、一日の生活の流れなどを説明した。
- ・(施設長) 引き続き、「グループホームおおぞらの主な活動」資料に基づき、「防災訓練」や家庭での生活と同様な体験が出来るよう「年中行事」の催しを行っていることや、仲間づくりや見聞を広めるための「余暇活動支援事業」を行なっていることなどの説明を行った。

○グループホームでの取り組み

- ・(施設長) 福祉施設における虐待行為が多発していることを受け、国より「虐待防止委員会」並びに「身体拘束廃止委員会」の設置が義務づけられ、当施設でも設置していることを説明した。
- ・(施設長) 引き続き、異常気象による集中豪雨の多発を受け「自然災害業務継続計画」や、新型コロナ感染などを受け「感染防止業務継続計画」の策定が義務付けられており、当施設では既に策定済みであることを説明する。

③ 意見交換

- ・(施設長) ①及び②の議事並びにそれ以外について質問・意見はないか推進員に問うが特に意見は出なかった。
- ・(施設長) グループホームおおぞらについて、これまでどの程度知っていたかを推進員に問いかける。
- ・(推進員) 造成時は他の施設が出来ると思っておりグループホームが出来て驚いた。身近に障害者のグループホームが無いのでピンとこないとの意見が出た。
- ・(推進員) 施設の事は漠然と知っているが詳細はわからない。地域としてどのようにして関わって行けばよいのか?との意見があった。
- ・(推進員) グループホームは生活の施設であるため、地域として中々踏み込めない所があるとの意見があった。
- ・(推進員) 顔の見える交流として、地域の祭典に参加してはどうかとの案に対し、事務局より、良い意見だと思うが、利用者7名のうち5名が土日は帰省することから全員が参加するのは難しいところであると回答する。
- ・(推進員) 地域への施設のPRはどのように行っているのかの質問に対し、事務局より、協力施設である「太陽の家」は地域のイベントに椎茸販売などで活動しているが当施設では同様な活動はしていない。年に一度、「おひさま通信」という刊行物を班回覧してPRしている程度であると回答する。
- ・(推進員) 地元にも同様に班回覧しているのかの質問に対し、事務局より、多少刊

行物の発行枚数には余裕がある為、地元だけ必要であれば各戸配布も可能と考え
ると回答する。

- ・(推進員) 施設の前を通ると外周の掃除をしているのを見かけるとの発言があった
のに対し、事務局より、前面道路の植栽樹と歩道の清掃や除草作業を行うこととし
ていと回答する。
- ・(推進員) 障害者の方が生活している場に入るのには戸惑いがあるとの意見があっ
たのに対し、事務局より、職員に声を掛けて頂ければいつでも中を案内するし、過
去にも何人かご案内していると回答する。
- ・(推進員) 防災訓練について地域との協力体制は取れているのか。また、大雨の時
には隣の梅香の里に逃げるのも良いのではないかの意見に対し、事務局より、良い
意見であると思うが、現時点では連携は取れていない。自然災害業務継続計画では、
協力施設である太陽の家に避難することとなっており、一昨年には2度避難して
いることを伝える。また、梅香の里への協力依頼も考えたが、自前での対策という
ことで、避難施設の増設計画を現在進めていると回答する。
- ・(推進員) グループホームの食事は美味しいか利用者代表に問いかけたところ、「美
味しい」と回答する。
- ・(推進員) 酒・タバコはどうしているか利用者代表に問いかけたところ、タバコは
近くのコンビニに行き、お酒はここでは飲まないと答える。
- ・(事務局) 昨年の末頃にあるところのグループホーム2か所で火災が起り、利用
者が亡くなっており、また、お酒が入るとお酒に溺れたり、荒れて利用者同士の関
係が悪くなることも危惧されることから、これからも禁酒禁煙で行く予定である
と回答する。
- ・(推進員) 台所のコンロはガスを使っているのか、利用者も使うことがあるのかの
質問に対し、事務局より、停電の時にも使えるようにプロパンガスを使い、利用者
はキッチンには立つ事はないと回答する。
- ・(推進員) 消火器は使えるか利用者代表に問うと、年に4回消火訓練をしていると
回答する。
- ・(推進員) 部屋にはテレビはあるか、また、隣がやかましくないかと利用者代表に
問うと、部屋にはテレビを置いてあり、音は気にならないと回答する。
- ・(推進員) 夕食後、9時まで食堂に利用者がみんないるのか利用者代表に問うと、
カラオケやゲームをして皆でいと回答する。
- ・(事務局) 他のグループホームでは、食事以外は自分の部屋に戻り利用者同士の交
流が無い施設もあると聞いていると伝えると、推進員から、いくつかのグループホ
ームを見ているが、この施設は利用者同士の交流があり家庭的な施設と感じてい
るとの話があった。
- ・(推進員) 世話人の仕事はどのような仕事をしているかの質問に対し、事務局より、

主には食事の世話や片付け、掃除が主な仕事であると回答する。

- ・(推進員) 部屋にはカギはついているのかの質問に対し、事務局より、各部屋にはカギがついており就寝時には施錠している。利用者には他人の部屋には入らないように伝えている。用事の時にはノックして呼ぶように伝えていると回答する。

4 閉 会

- ・(事務局) 予定の時間が迫ってきているので意見交換を終了し、推進員が訪問する時には別紙の「地域連携推進員施設訪問届出書」を事前に提出するようお願いする。また、訪問の際は、推進員は個々に訪問するように伝える。
- ・(推進員) 訪問時に推進員以外の方を連れてきてもいいかの質問に対し、事務局より、多くの方に関心を持ってもらうことは必要なので、同行して頂いても良いとの回答をする。
- ・(事務局) 以上をもって会議を閉会することを伝える。

会議終了時間：午後 3 時

※ 会議終了後、推進員の希望者による施設見学を行なった。